

三七九八番

何^{なに}すと 違^{たが}ひは居^をらむ 否^{いな}も諾^をも 友^{とも}の並^なみ並^なみ
我^{われ}も寄^よりなむ

三七九九番

豈^{あに}もあらぬ 己^{おの}が身^みのから 人^{ひと}の子^この 言^{こと}も尽^つく
さじ 我^{われ}も寄^よりなむ

三八〇〇番

はだすすき 穂^ほにはな出^いでと 思^{おも}ひたる 心^{こころ}は
知^しらゆ 我^{われ}も寄^よりなむ

三八〇一番

住^{すみのえ}吉^{のえ}の 岸^{きしの}野^のの 榛^{はり}に にほふれど にほはぬ我^{われ}や
にほひて居^をらむ

三八〇二番

春^{はる}の野^のの 下^{したくさ}草^のなびき 我^{われ}も寄^より にほひ寄^よりな
む 友^{とも}のまにまに